

令和 4年度

計 算 書 類

(自)令和 4年 4月 1日

(至)令和 5年 3月31日

社会福祉法人 藤花幸寿会

理事長 藤野 正文

法人単位資金収支計算書

(自)令和 4年 4月 1日(至)令和 5年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	559,356,642	559,354,043	2,599	
	受取利息配当金収入	439,000	439,072	△72	
	その他の収入	742,200	740,684	1,516	
	事業活動収入計(1)	560,537,842	560,533,799	4,043	
	支出				
	人件費支出	324,872,481	324,855,059	17,422	
	事業費支出	111,089,000	111,062,556	26,444	
	事務費支出	27,449,000	27,402,877	46,123	
	利用者負担軽減額	1,210,000	1,208,759	1,241	
支払利息支出	10,520,505	10,519,086	1,419		
その他の支出	1,408,000	1,406,314	1,686		
事業活動支出計(2)	476,548,986	476,454,651	94,335		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	83,988,856	84,079,148	△90,292		
整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	64,296,000	64,296,000	0	
	固定資産取得支出	150,700	150,700	0	
施設整備等支出計(5)	64,446,700	64,446,700	0		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△64,446,700	△64,446,700	0		
その他の活動による収支	収入				
	投資有価証券売却収入	30,000,000	30,000,000	0	
	その他の活動収入計(7)	30,000,000	30,000,000	0	
	支出				
	投資有価証券取得支出	30,010,000	30,010,000	0	
その他の活動支出計(8)	30,010,000	30,010,000	0		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△10,000	△10,000	0		
予備費支出(10)		—			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	19,532,156	19,622,448	△90,292		
前期末支払資金残高(12)	149,494,548	149,494,548	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)	169,026,704	169,116,996	△90,292		

法人単位事業活動計算書

(自)令和 4年 4月 1日(至)令和 5年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	559,354,043	540,360,043	18,994,000
	経常経費寄附金収益		46,800	△46,800
	サービス活動収益計(1)	559,354,043	540,406,843	18,947,200
	費用			
	人件費	322,915,059	309,939,109	12,975,950
	事業費	111,062,556	99,848,551	11,214,005
	事務費	27,402,877	26,439,759	963,118
	利用者負担軽減額	1,208,759	894,547	314,212
	減価償却費	65,883,400	67,017,439	△1,134,039
国庫補助金等特別積立金取崩額	△7,814,335	△8,249,681	435,346	
サービス活動費用計(2)	520,658,316	495,889,724	24,768,592	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	38,695,727	44,517,119	△5,821,392	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	439,072	1,434	437,638
	その他のサービス活動外収益	740,684	875,242	△134,558
	サービス活動外収益計(4)	1,179,756	876,676	303,080
	費用			
	支払利息	10,519,086	11,007,068	△487,982
	その他のサービス活動外費用	1,406,314	1,694,695	△288,381
	サービス活動外費用計(5)	11,925,400	12,701,763	△776,363
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△10,745,644	△11,825,087	1,079,443
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	27,950,083	32,692,032	△4,741,949
特別増減の部	収益			
	特別収益計(8)	0	0	0
	費用			
	特別費用計(9)	0	0	0
特別増減差額(10)=(8)-(9)	0	0	0	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	27,950,083	32,692,032	△4,741,949	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	△128,942,818	△161,634,850	32,692,032
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	△100,992,735	△128,942,818	27,950,083
	基本金取崩額(14)			
	その他の積立金取崩額(15)			
	その他の積立金積立額(16)			
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	△100,992,735	△128,942,818	27,950,083

法人単位貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	191,137,756	169,714,038	21,423,718	流動負債	92,916,760	93,055,490	△138,730
現金預金	99,846,572	81,254,528	18,592,044	事業未払金	17,969,233	16,534,460	1,434,773
事業未収金	90,232,975	86,713,047	3,519,928	その他の未払金	0	2,040	△2,040
未収金	52,800	26,000	26,800	1年以内返済予定設備資金借入金	64,296,000	64,296,000	0
貯蔵品	939,409	914,463	24,946	職員預り金	4,051,527	3,682,990	368,537
前払費用	66,000	66,000	0	賞与引当金	6,600,000	8,540,000	△1,940,000
仮払金	0	740,000	△740,000				
固定資産	1,396,462,120	1,462,184,820	△65,722,700	固定負債	1,414,224,000	1,478,520,000	△64,296,000
基本財産	1,335,065,890	1,392,945,385	△57,879,495	設備資金借入金	1,414,224,000	1,478,520,000	△64,296,000
土地	344,358,359	344,358,359	0	負債の部合計	1,507,140,760	1,571,575,490	△64,434,730
建物	990,707,531	1,048,587,026	△57,879,495				
その他の固定資産	61,396,230	69,239,435	△7,843,205	純資産の部			
土地	13,430,897	13,430,897	0	基本金	50,000,000	50,000,000	0
構築物	40,643,566	43,769,993	△3,126,427	第3号基本金	50,000,000	50,000,000	0
器具及び備品	7,288,447	11,961,945	△4,673,498	国庫補助金等特別積立金	131,451,851	139,266,186	△7,814,335
ソフトウェア	13,320	66,600	△53,280	その他の積立金			
投資有価証券	20,000	10,000	10,000	次期繰越活動増減差額	△100,992,735	△128,942,818	27,950,083
				(うち当期活動増減差額)	27,950,083	32,692,032	△4,741,949
				純資産の部合計	80,459,116	60,323,368	20,135,748
資産の部合計	1,587,599,876	1,631,898,858	△44,298,982	負債及び純資産の部合計	1,587,599,876	1,631,898,858	△44,298,982

計算書類に対する注記(法人全体用)

1. 継続事業の前提に関する注記
該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- ・最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ・建物並び器具及び備品一定額法
- ・リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

- ・無形固定資産一定額法

(3) 引当金の計上基準

- ・賞与引当金－職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上

(4) 消費税等の会計処理－税込方式

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

常勤職員について、浜松商工会議所の実施する特定退職金共済制度に加入している。

5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 法人全体の計算書類(会計基準省令第一号第一様式、第二号第一様式、第三号第一様式)
- (2) 事業区分別内訳表(会計基準省令第一号第二様式、第二号第二様式、第三号第二様式)
- (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、事業区分が社会福祉事業のみであり、拠点も藤乃花だけであるので、

(2)・(3)の書類は作成していない。

- (4) 公益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、公益事業を実施していないため作成していない。

- (5) 収益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、収益事業を実施していないため作成していない。

- (6) 各拠点区分におけるサービス区分の内容

ア 藤乃花拠点(社会福祉事業)

「法人本部」

「特別養護老人ホーム藤乃花」

「ショートステイ藤乃花」

「デイサービスセンター藤乃花」

「藤乃花居宅介護支援事業所」

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	344,358,359	0	0	344,358,359
建物	1,048,587,026	0	57,879,495	990,707,531
合計	1,392,945,385	0	57,879,495	1,335,065,890

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は、以下のとおりである。

土地(基本財産)	344,358,359円
建物(基本財産)	990,707,531円

計 1,335,065,890円

担保に供している債務の種類および金額は、以下のとおりである。

設備資金借入金(1年以内返済予定額を含む)	1,478,520,000円
-----------------------	----------------

計 1,478,520,000円

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。
(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産			
建物	1,333,944,045	343,236,514	990,707,531
小計	1,333,944,045	343,236,514	990,707,531
その他の固定資産			
構築物	62,528,555	21,884,989	40,643,566
器具及び備品	78,515,646	71,227,199	7,288,447
小計	141,044,201	93,112,188	47,932,013
合計	1,474,988,246	436,348,702	1,038,639,544

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位:円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	90,232,975	0	90,232,975
未収金	52,800	0	52,800
合計	90,285,775	0	90,285,775

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし
12. 関連当事者との取引の内容
該当なし
13. 重要な偶発債務
該当なし
14. 重要な後発事象
該当なし
15. 合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受け
該当なし
16. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし